



検査と健康展 in 二戸 ご案内



日時：2018年11月25日（日）8：00～15：30

場所：ショッピングセンター ニコア内 カシオペアホール

内容：①無料検査ブース

- ・肺年齢検査（スパイロメトリー検査）
- ・簡易血糖測定
- ・簡易ヘモグロビン濃度測定

②検査説明・相談コーナー

- ・医師による検査についての説明、相談

③キッズ専用ブース

- ・バルーンアート いろいろなバルーンを作ろう☆
- ・わんこ兄弟と遊ぼう😊

④パネル展示

- ・各種健康啓発パネルの展示
- ・臨床検査に関するパネルの展示及びDVD上映

⑤がん検診の普及啓発

- ・普及啓発リーフレットの配布



ショッピングセンターニコア

二戸市米沢字荒谷 25 番地



(い わ て)

あっぱりレーマラソン2018に参加しました

岩手県立二戸病院 油川 舜 (あぶらかわ しゅん)



9月9日に行われた、安比リレーマラソンに参加させていただきました。去年に引き続き2回目の参加ということで、少しは慣れたかと思いましたが、行きはひたすら下り、帰りはひたすら上りのスペシャルコースにやはり翻弄され、最後は足が上がりずタスキをつなぐだけで精一杯でした。今年はもっと気持ちよく走れるようにと、練習していたのですが...

当日はあいにくの雨に見舞われ、朝から気温もかなり低く、マラソンには難しい天気となりました。時折、雨足が強くなり、走っていると目を開けられなくなるようなことも。なかなか体が温まらず、いつも以上に疲労を感じた方も多かったのではないのでしょうか。僕自身も体が動かなかったり、普段痛めないような部分が痛くなったりと、寒さがとてもつらかったです。そんな中、サポートメンバーや、走り終わった方々が準備してくださった温かい食事、飲み物がとても助かりました。体に染み渡るとはこのことかと(笑)。選手を気遣い準備してくださった方々、本当にありがとうございました。焼き立てのお肉や野菜、焼きそば、トマトときゅうりのマリネなどなど、どれもとてもおいしかったです。最高の休息を経て、無事3週を走りきることができ、全体としても大きな怪我なく、そろってゴールすることができました。

大会当日に向けて、食材や用具類、場所取りなど数多くの準備を進めてくださった方々、本当にありがとうございました。お陰様で、様々な職場の方とお話しでき楽しい時間を過ごすことができました。来年もぜひ参加したいと思います。また、1週(2km)からでも参加でき、サポートメンバーとしてチームの補助をメインに参加もできるので、興味のある方は、ぜひ一緒に交流を楽しみませんか？

ガンライザーと
ハチマンタイラーに気合
をいただきました!!!



雨の中みんなで無事ゴール!!
寒い中、お疲れ様でした!!



大会参加者への
癌予防啓発中



平成 30 年度第一回岩臨技血液部門研修会に参加して

岩手県立中部病院 藤原 教徳

9 月 8 日（土）に岩手県立中央病院にて開催されました。講演Ⅰは岩手県立中部病院の佐々木久臣さんに、末梢血液像の見方～白血球・血小板を中心に～という内容で講演をいただきました。基本的な部分から詳細な部分に至るまで幅広く、また佐々木さんの経験や考え方を交えてわかりやすくお話しいただきました。今回の講演で教えて頂いた形態鑑別のポイントを整理復習してこれからの業務に活かしていきたいと思います。講演Ⅰに引き続き実技講演が行われました。内容は画像管理システムを利用した形態カンファレンスという内容でした。画像管理システムに格納された画像を参照しながら細胞分類や症例検討を行いました。細胞分類は講演Ⅰで聴講した内容をさらに詳細に教えて頂きながら学ぶことができましたし、症例検討では疾患に関連する検査項目や治療方法など教えて頂きました。またグループ毎に分かれて行う方式でしたので、他施設の方の意見や施設運用なども共有することができ大変有意義な時間となりました。

最後となりますが、講師の佐々木先生、内藤先生をはじめ、このような充実した研修会を企画して頂いた関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



平成 30 年度 第 2 回中部地区研修会に参加して

岩手県立中部病院

渡部 敦裕

2018 年 9 月 22 日（土）、「医療環境トピックスと臨床検査技師の価値向上に向けて」と題してシスメックス（株）の田渕伸也さんに講演をして頂いた。講演内容は主に今後の医療環境の変化及び将来的な臨床検査技師の役割についてであった。

医療法改正についてのお話で特に私が気を付けなければならないと感じた点は、医療法で義務となった精度の確保に関わる各種標準作業書、日誌作成の徹底である。検査、測定担当者の検査手技の画一化を図り、測定者間の格差をなくすために作成することが重要であり、日々の業務を後でトレースするためにも必要不可欠である。また、検査項目毎に性能特性、環境条件、変動要因等も測定標準作業書に盛り込み一目で分かり易く確認できるようなものを作成していきたいと感じた。

将来的に検査機器の自動化が益々進み、AI 等を活用した臨床検査や検査システムが構築されてゆくという未来は目前にある。そのような環境で臨床検査技師は変化に順応し職域拡大と能力開発を積極的に行っていかなければならない。そのためには専門性を追求する、専門技師、多能性を発揮する病棟検査技師、救急検査技師、在宅検査技師といった検査技師が今後求められていく。

2025 年に向け、急性期病床の減少によって検査室の縮小が予想されている。その中で自分の新たな役割を見出し対応していく事が今後求められる。そのためにも今から専門性が高く幅広い知識や技術を身に付けていかなければならないと改めて痛感した。



研修会のご案内

【日臨技 北日本支部医学検査学会（第7回）】

テーマ：挑戦と飛躍

日時：平成30年11月10日（土）11日（日）

場所：リンクステーションホール青森

【ECHO TOHOKU 2018】

日時：2018/11/17 13:00～18:00

場所：仙台市中小企業活性化センターAER 5F「多目的ホール」

参加費：3000円（HPより事前登録および事前支払い）

定員：230名（先着順）

【日臨技北日本支部研修会「輸血伝達講習会」】

テーマ：「輸血検査の質を担保できる輸血検査技師の育成」

日時：平成30年11月17日（土）13:30～17:30 11月18日（日）9:00～16:00

場所：1日目 山形大学医学部 CBT講義室

2日目 山形大学医学部 第3実習室（山形県山形市飯田西2-2-2）

定員：50名（先着順） 申し込み締め切り：平成30年9月14日（金）

受講料：7,000円

生涯教育研修制度：専門30点

【岩手県医学検査学会 in 南部地区】

テーマ：臨床検査技師の可能性と多様性～診療に繋げるために～

日時：2018年11月18日（日）9:30～16:30

場所：前沢ふれあいセンター

【日臨技北日本支部微生物部門研修会】

テーマ：「臨床微生物検査のスキルアップを目指して」

日時：平成30年11月23日（金・祝）13:30～17:50 11月24日（土）9:00～12:00

場所：山形市立病院済生館 4階 大会議室

定員：100名 申し込み締め切り：平成30年10月26日（金）

参加費：会員5,000円 非会員7,000円

生涯教育研修制度：専門30点

【Echo camp iwate Ⅲ】

日時：2018年12月1日（土）～12月2日（日）

場所：オガール紫波

申し込み締め切り：平成30年10月20日

詳細はHP等でご確認ください

平成 30 年度第 2 回理事会議事録

日時：平成 30 年 10 月 6 日（土曜日）

場所：アイーナ 8 階 801 会議室

出席者：行森良一、菊池英岳、高橋一博、川村将史、畠山裕司、宮本祥一、岡田進、
細川裕史、阿部久子、千田文枝、小野寺絵美、相原淳路

はじめに（行森）

今、日本では災害が続いている。西日本豪雨災害に続き、一か月前には北海道胆振東部地震が発生した。台風 24 号が日本に上陸、25 号も今週、東北、北海道に上陸する予報となっている。被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。日臨技としては災害支援金を検討している。北日本支部が出来る前、東北臨床検査技師会時代の東日本大震災の復興支援金を西日本や北海道の見舞金にできないか上層部で検討している。

北日本支部学会が青森県で平成 30 年 11 月 10 日（土）～11 日（日）に開催される。岩手県から 8 演題エントリーされた。岩手県医学検査学会も実行役員の皆様が細川南部地区会長を中心に準備されていると思うが、是非、成功裏に終わるよう頑張ってください。

I 報告事項（行森）

- ・医療法等の一部改正について

医療法等の一部を改定する法律が平成 30 年 12 月 13 日に施行される。日臨技としては e-ラーニングによる精度管理責任者育成コースを開設する予定である。また標準作業書等のテンプレート作成しているところである。詳しいことは日臨技のホームページや会報誌 JAMT を確認してほしい。ISO の項目は 600～700 程度で標準作業書等の項目は 200～250 程であり ISO には対応していないが、ISO の施設認証取得のベースにはなると思われる。

II 議題（行森）

- ・『認知症対応力向上講習会 B』の開催について

講習会 A は既に終了している。開催は 3～4 か月前に日臨技に申請しなくてはならない。臨床検査技師に限らず他の職種でも認知症に対する講習会が増えている。臨床検査技師も認知症に関わる機会が多くなってきており、知識を高める為にも岩手県でも開催してほしい。講習会 B の内容は 500 分であり休憩時間等を含めると 10 時間以上となる。研修内容は主にビデオ講習と実習であり、受講資格は検体採取等に関する指定講習会受講者である。受講者は実習を含む為、最大 15 名で 5 名以下では開催できない。日臨技にも詳細を確認しながら、土日開催（2 日間）、今年度中 1 月～2 月の開催で検討していくこととなった。

- ・ホームページ作成、サイボウズの利用停止及び会費について

ホームページ作成には技師会費の値上げが必要である。ホームページを一度に作り上げるには初期経費がかかるので段階的に進め、また、利用者が増えるよう内容や利便性を充実させていく必要がある。サイボウズの利用停止については R グループ等での試験運用はまだ行っていない。会費については平成 32 年度岩手県開催の北日本支部医学検査学会の経費も必要であり、また、各地区の研修会の経費についても抑えている状況にある。岩臨技

(い わ て)

の会費は 5000 円であり、青森県は 8000 円、山形県は 7000 円、秋田県、福島県は 6000 円である。日臨技への報告（次年度の年会費の登録）は 12 月中旬であり、総会で承認を得てからの会費値上げとなるので実際の値上げは平成 32 年度分からとなる。会費の値上げは必須であり、値上げの金額は 1000～2000 円程度になると思われるが 11 月の監査時に税理士に相談し、次回の理事会で決定することとなった。

- ・第 9 回北日本支部医学検査学会（岩手県開催）について

会期は平成 32 年 10 月 17 日（土）～18 日（日）で場所はいわて県民情報交流センター（アイーナ）で行う予定である。アイーナは既に押さえている。宿泊施設は全国的なイベントと重ならないと問題ないと思われる。17 日の情報交換の会場はヤマダプランニングと相談し決定することとなった。日臨技の医学検査学会が同年 4 月に東北（宮城県）で開かれることもあり、演題数の確保が難しくなると思われる。

- ・地区技師会の備品について

盛岡地区技師会でスクリーンを購入したい。健康展でも必要である。資産になってしまう可能性がある。岩臨技にもスクリーンにはない。値段を確認し今後検討していくこととなった。

Ⅲ各事業について

1、総務部（菊池）

- ・会員名簿を発送したが間違いが数件あった。次回の会報いわてに正誤表を載せることとなった。

9 月 30 日（日）に親睦を深める活動として奥州市江刺種山ヶ原物見山でハイキングを計画したが台風 24 号が接近した為に中止となった。

2、学術部（行森）

- ・岩臨技の精度管理調査は 11 月 6 日に試料を発送予定となっている。回答期間は 6 日～16 日までとなっている。手引書は 11 月 5 日より確認可能。血液の北日本支部研修会が 10 月 27 日、28 日に盛岡市リリオで開催予定である。地域ニューリーダー育成研修会に川村常務理事参加予定である。

3、公益部（川村）

- ・『がん予防啓発キャンペーン』について

9 月 9 日に大雨の中、安比高原スキー場で行われたあっぱりレーマラソンに参加した。総勢 15 名の会員で大腸がん予防啓発活動を実施した。5 年目になり公益事業の一行事として定着してきている。今後も県内広域から参加者が集まる活動をしていきたい。

- ・検査と健康展 in 北部について

開催日は 11 月 25 日（日）、場所は二戸ショッピングセンター ニコアで行う。実務会議を 10 月 2 日に行った。一般参加予定人数は肺年齢、血糖測定共に 100 名でスタッフは約 30 名を予定している。肺年齢測定機器や血糖測定器等はメーカーに手配済み。認知症テスト機器は日臨技よりレンタルの予定。ゆるキャラはわんこきょうだいの『こくっち』。ニコアにイベント告知用ポスターを配布し掲示して頂く予定。当日、参議院選挙になった場合、会場スペースが半分になるが、臨機応変に対応していく。今回は細胞検査士会も PR 事業として顕微鏡等を会場に手配し参加する予定である。

(い わ て)

4、生涯教育（宮本）

- ・ 今日現在 29 件行事登録されているが例年より少ない状況。日臨技申請分が 13 件でまだ 7 件程の余裕がある。これから 1 月、2 月の開催を加えれば例年通りの開催数になると思われる。

5、事務局報告事項（畠山裕司）

- ・ 平成 30 年 7 月 14 日から 10 月 5 日までの事務局活動報告（詳細は別紙）
- ・ 8 月 24 日に各種研修会のお知らせや会報いわて、会員名簿等を発送したが、一部に締め切りの期限の過ぎたものがあった。今後はそのようなことが無いよう頻繁に発送するようにしたい。
- ・ 日臨技の一斉メールを精度管理の案内、県学会 NEWS LETTER、北日本支部のアンケートを配信した。
- ・ 事務局内のインターネット回線は ADSL を使っているが 2023 年 1 月 31 日で終了する。いずれはフレッツひかりに変更になると思われる。
- ・ 平成 30 年度保健医療功労者に対する知事表彰について
該当する対象者がいなく、今回は該当者なしで報告した。

6、各地区活動報告

〈北部地区：岡田〉研修会を 10 月 2 日に開催した。内容は認知症で参加者は 12 名であった。

11 月 25 日に検査と健康展が開催される。北部地区で 20 名のボランティアが必要である。北部地区会員の皆様にご協力をお願いしたい。

〈盛岡地区：川村〉役員会で健康展の話し合いを行った。2 月に研修会を行う予定。内容は認知症や接遇、一般検査（尿沈査）を検討している。第 2 回研修会を行った。内容は超音波で参加者は約 30 名であった。生理部門研修会と開催日が重なってしまった。運営上、開催日が限られていたが、今後は開催日が重ならないようにしたい。

〈中部地区：千田〉第 2 回研修会を 9 月 22 日に開催した。内容は医療法等の一部改正で参加者は 23 名であった。第 3 回の研修会を 12 月 15 日に行う予定である。

〈南部地区：細川〉研修会を気仙地区で行いたいと考えているが、今は第 23 回岩手県医学検査学会開催に向けて専念している。学会終了後に気仙地区で研修会を開催できるようにしたい。

IVその他

- ・ 第 23 回岩手県医学検査学会について

日時：11 月 18 日（日）受付開始 8：45～

場所：前沢ふれあいセンター

これまでの経過と今後の予定及び学会当日のタイムスケジュールについて（詳細は別紙）。今回のテーマは臨床検査技師の可能性と多様性。一般演題は締め切りの時点で 11 題のエントリーがあったが、1 演題取り下げがあり最終的には 10 題となった。今回、岩手県学会の運営マニュアルを作成し、それに則って実行員会で周知して行動した。最優秀演題賞として賞状と記念品を贈呈することとした。教育講演は『患者さんと向き合う認知症領域臨床検査技師』で講師は深澤恵治氏、司会を岩手県初の認知症領域臨床検査技師である東八幡平病院の吉田英子氏に依頼した。公開公演は気仙ボケー座さんに寸劇形式の演劇を予定し

(い わ て)

ている。岩臨技から2名と深澤さんにも出演をお願いした。お楽しみ抽選会の景品は全部で10品目程度を予定。来場者には何かしら手渡せるようにイベント等で余った景品を提供して頂きたい。出展展示は技師会企画とメーカー出展で行うこととした。技師会企画としては検体採取トレーニングシュミレーター、物忘れ相談プログラム、MCI 検査サポートソフトを企画している。メーカー出展として超音波診断装置、多項目自動血球測定装置、睡眠評価装置、POCT 機器等の展示を予定している。学会抄録は例年通り600部発注予定であるが、下刷りを南部地区実行委員で確認するが、岩臨技総務部、学術部にも確認して頂きたい。ネームを140枚発注予定であるが、抽選会用に通し番号を印刷する。今回はメーカーさんをはじめとした協賛会員さんには配布しないこととした。横断幕、垂れ幕、立て看板は会場のふれあいセンターへ依頼する予定である。最優秀演題賞は実行委員の投票により決定する。学会前日、当日のスケジュール、行動配置、役割分担は第2回の実行委員会で周知している。当日、行森会長をはじめ、受付の宮本理事や岩臨技理事の皆様には今後、何かしらお願いすることあると思うがご協力をお願いしたい。当日の実行委員の集合時間は8時30分を予定している。前沢ふれあいセンターは8時に開場になる。

検査と健康展で毎年、技師会名の入ったボールペンを注文している。余っているので数を確認して当日に持っていく。健康展のファイルも毎年送られてくるのでそれらも学会参加者に配布できるよう手配することとなった。

・平成30年度災害派遣技師研修会について

平成30年度の災害派遣技師研修が技師会館で12月14日～15日に行われる。災害時連絡責任者を優先して募集している案内であり、災害時連絡責任である菊池副会長のスケジュールを確認してから参加を決定することとなった。

医療法改正説明会のご案内

平成30年11月、青森市で行われる北日本支部医学検査学会（第7回）での、プログラムのひとつとして下記の通り医療法改正関連の説明会を行われることとなりました。皆様、是非ご出席くださるようにご案内申し上げます。

記

会場：リンクステーションホール青森（青森市文化会館）1階大ホール

講師：滝野 寿（一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 専務理事）

1、「医療法等から読み解く今後の精度管理について

— “精度管理” 時代から “品質保証” 時代へ —

平成30年11月10日（土）15:50～17:00

2、「医療法等の一部改正に伴う日臨技の対処方針」

平成30年11月11日（日）13:50～14:20

(い わ て)



“つなぐ”



今回の『つなぐ』は県立中央病院の西館なつみさんです

今回、県立宮古病院の畠山尚子さんから「つなぐ」のたすきを引き継ぎました、県立中央病院の西館なつみと申します。畠山さんとは同期で、研修会や学会でお会いするといつもニコニコ話しかけてくれます。畠山さんの登ったという兜明神岳は私も小学校のグリーンキャンプで登ったことがあります。懐かしいです。

今回私は、前任地である千厩病院の職員の方と山形県に行き、山寺に登った時のことをお話ししたいと思います。みなさんは山寺ご存知ですか？山寺は「宝珠山 立石寺」といい、貞観二年(860年)に建立されました。松尾芭蕉がうたった「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」の句の舞台です。なんと石段数は1000段を超えるのです！ふもとから山を見上げ、上の方にたたずむ御堂をみて、「あんなところまで上るのか」と思いました。まずは、松尾芭蕉の像に見送られながら、腹ごしらえで力こんにゃくを食べて出陣！ひたすら登りました。登っても、登っても見えてくる石段、、、石段には手すりがあるので支えながら歩くこともできます。また、木の棒を杖代わりにして登っている人もいました。急な傾斜もないので歩きやすく、上がっていくごとに景色も変わってくるので楽しく登ることができます。子供からお年寄りの方まで幅広い年齢層の方が登っていました。仁王門という立派な門、いくつかある御堂を通り、終点は奥の院になります。登り切ったあとの景色は絶景です！！が、その日はあいにく曇っており少し残念でした。しかし、達成感は十分にあります。初夏の時期だったので登った時には、汗だくでした。下山は楽々降りることができ、登りよりも俄然、時間はかかりません。下まで戻ってきて、まだまだいけるな、私。と思った矢先、足の震えが止まらない!!膝が笑うとはこのことだなと、体は正直だなと痛感しました。その後、車を走らせ、足が赤くなるくらいあつあつの足湯で足を労わり心地よい気分になりました。いい運動になりますし、眺めも良く、四季折々の景色も楽しめる山寺はおすすめのところです。また、御朱印も何ヵ所かでいただけるので、御朱印を集めている方にも良いのではないのでしょうか。私は次、山形に行く機会があったら銀山温泉や加茂水族館に行ってみたいと思っています。

次は、千厩病院で一緒に働かせていただいた浅沼弥姫さんにつなぎたいと思います。よろしくお願いします。



NEW

第 23 回岩手県医学検査学会 in 南部地区のご案内

日時：2018/11/18（日）9:30～16:30

場所：前沢ふれあいセンター チェリーホール

日程：8:45～9:30 受付

9:30～9:40 開会式

9:40～10:30 一般演題（演題1～5）

10:30～10:45 休憩

10:45～12:15 教育講演『患者さんと向き合う臨床検査技師』

講師：日臨技専務理事 深澤恵治氏

12:30～13:00 ランチョンセミナー

積水メディカル『梅毒検査に関する最近の話題』

ロシュイグノスティクス『骨粗鬆症と血清ビタミンDについて』

13:20～14:10 一般演題（演題6～10）

14:30～16:00 公開公演『いっしょに考えてみませんか？認知症』

気仙ボケー座

16:00～ お楽しみ抽選会

16:30～ 閉会式

《アクセス》



* JR 東北本線 前沢駅 西口より徒歩5分

* 東北自動車道 平泉前沢 IC より車で8分

* 岩手県交通七日町バス停留所または

前沢駅バス停留所より徒歩5分



雨の種山ハイキング

9月30日、奥州市で種山のハイキングを予定していましたが、台風24号の影響で中止となりました。昨年に引き続き天候に恵まれず、私が雨男ではないかと自問自答しています。2年続けての企画倒れとなりましたが、来年こそ皆さんの熱意で晴れを呼んでトレッキングを楽しみましょう。



～岩臨技名簿のお詫びと訂正～

先日岩臨技名簿の改訂版を配布したところですが、訂正箇所が数カ所ありました。施設名所の間違いなど数カ所指摘を受けました。改めてお詫び申し上げます。次回改定の際には、このようなことがないように致します。今回の間違いについては、正誤表を会報に載せることでご報告とさせていただきます。

なお、これ以外にも修正箇所がございましたら事務局か地区技師会の役員に報告お願い致します。

誤		正
P30以降	岩手県立中央病院 中央検査技術科	岩手県立中央病院 臨床検査技術科
P1	岩手県立一戸病院 東山 択章	岩手県立一戸病院 東山 拓章
P1	岩手県立久慈病院 下新田 博晃	岩手県立久慈病院 下新井田 博晃
P28	医療法人勝久会 松原クリニック	P29とダブリ掲載
P33	PCL キチャチ レイコ	PCL ヨシヤチ レイコ

総務部 菊池英岳

～編集後記～

今年も早いもので10月になり秋の色も深まってきました。先日のニュースで栗駒山の紅葉が山全体に徐々に茜色染まっていく様子が放映されていました。私も10年ほど前に一度登ったことがあります。その景色は今でも忘れません。赤、橙色、黄色のグラデーションが見渡す限りに広がる素晴らしい景色はきっとここを残るでしょう。さて、会報「いわて」では皆様の身近な話題を募集しております。会報専用メールアドレスまでお寄せください。お待ちしております。

(相)

会報「いわて」第321号 2018.10

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：行森 良一

事 務 局：畠山 裕司

編集責任者：相原 淳路

小野寺 絵美

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel (019)651-5111 内線3746 Fax. (019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp